

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	95	事業名	重症化予防事業		担当課		保険医療課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		5-1-1-3 重症化予防事業		
			（中事業名） 重症化予防事業		決算書ページ		20 ~ 国保		
I 基本情報	総合計画	基本目標	4	誰もがいきいきと安心して暮らせるまち					
		政策	3	いくつになっても元気でいきいきと輝けるくらしの推進					
		施策	(1)	市民の健康づくり					
	その他	開始年度	平成28年度						
		終了予定年度	<input type="checkbox"/>	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		民間事業者とのみ協働可
		根拠法令等	国民健康保険法						
		関連計画	第3期長久手市国民健康保険データヘルス計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)			
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 300		【アクションプラン指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）になった対象者の人数 【その他の指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者のうち保健指導勧奨等を行った割合		重症化保健指導の参加者のうち、数値が改善した人の割合が増える。			
		【事業内容】 健康リスクの高い人に対し、受診勧奨通知の送付を行い早期受診を促すとともに対象を取り巻く医療職・関係者が連携して生活習慣改善・栄養指導・服薬指導を行うことで、個人の健康管理能力を高め病気の重症化を防ぐ				(成果指標名) 生活習慣の改善意欲がある人の割合			
				④最終成果 (大事业の将来像)					
				自分の身体の健康管理能力が高い市民の増加。 また、数値が改善しないアンコントロール群を減少させ、糖尿病が重症化したことによる透析や入院、手術に伴う医療費の減少。					

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）になった対象者の人数	人	基準値	237	目標値	235	230	225	220	215	
			目標値		215	実績	266						
		2	【その他指標】 健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者のうち保健指導勧奨等を行った割合	%	基準値	100	目標値	100	100	100	100	100	
			目標値		100	実績	100						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	HbA1Cの有所見者は、将来的に人口透析や手術となる可能性もあり、市（栄養士）やかかりつけ医等が連携して個別指導を継続的に行っていくことが大切となる。統計的に人口透析の新規患者数は減少しているが、引き続き注視が必要である。										
		各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R 6	健康リスクが高い（HbA1c 6.5以上）対象者については、全て保健指導等を実施することができた。またその指導により医療機関への受診や、数値改善につながったケースもあった。しかし、受診はしても医療機関により治療につながらないケースもあるため、医療機関との連携と本事業の周知が課題となっている。				R 7						
		R 8					R 9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標										
		生活習慣の改善意欲がある人の割合		%	1 年度		5 年度		【現状】 6 年度		9 年度		14 年度		
					67		66.4		72.4		72		75		
		成果達成状況					指標目標値の根拠								
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている					保健事業の実施効果を見るために、特定健康診断質問項目の中で、生活習慣の改善について、「改善意欲あり」以上の回答をした人数の割合を成果指標とする。							
		評価の理由、分析													
	令和元年度から令和5年度まで「生活習慣の改善意欲がある人の割合」が66～67%で推移しているため一定の効果が出ていると判断している。しかし、目標達成できていないため広く周知していく必要がある。														
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由											
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		成果指標については、改善傾向にあるため変更を行うより、継続的な事業実施の中で見直しを行っていくことを考えているため。										
		改善ポイント													
（成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入）															
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度				
1	保健指導対象者を減少させるための予防事業	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	糖尿病が重症化する前に予防するため、BMIで高値の方に通知を送付する								R7				
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止													

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度		
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算			
			C. 縮小 D. 廃止			5,714	4,213	4,907	3,581	6,098			
		理由			特定財源	合計額	5,714	4,213	4,907	3,581	6,098		
		重症化予防事業は、継続的に実施していくことで、医療費の削減にも寄与していくものと考えているため、前年度同等の予算額は確保していきたい。				(内 国費)	0	0	0	0	0		
						(内 県費)	5,714	4,213	4,907	3,581	6,098		
						(内 諸収入)	0	0	0	0	0		
						(内 その他)	0	0	0	0	0		
		一般財源			0	0	0	0	0	0			
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞								
					保健事業業務委託5,241千円（4,057千円） 保険者独自データ作成手数料773千円（773千円） 通信運搬費54千円（47千円） 消耗品費30千円（30千円）								